



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)  
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ  
「ロータリーは機会の扉を開く」  
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

WEEKLY BULLETIN  
**OSAKA NAMBA**  
大阪難波ロータリークラブ週報

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
1月28日(木) 休会の為、ありません	2月4日(木) 休会の為、ありません	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

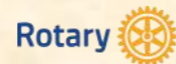
♪ 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥ 0 (休会)
本日までの累計	¥ 1, 459, 500 (62%達成)
1月末の予算額	¥ 2, 330, 000

出席報告		
前回	1月21日(休会)	3週前 12月24日(休会)
会員総数	58名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率
出席会員数	名	
出席率	%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30  
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間  
会長: 川口栄計 幹事: 福田 忠 会報・雑誌委員長: 三島敏宏 事務局: 安部亜希子  
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階  
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp



Vol. 37

「テーマ 金槌(かなづち)」

世代を紡ぐ  
インタビュー

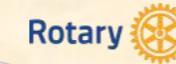
週報の取材を受けるにあたり、私自身の会報委員時代を懐かしく思います。いかにして経費を削減し編集を簡便にするか、また的確に分かり易く伝えるかを考えて写真の貼付やパソコンの編集ソフトの導入など苦心していたのを思い出します。当時の表紙は「ITとの出会い」は、九十年頃のDOS2発売当時、取引先である松下電工の社長からの勧めです。これからはPCの時代」と感じて始めました。最初は、工具のドライバーとソフトのドライバーを勘違いする程だったので、毎週末のパソコン教室通いと、毎日一時間の練習でフライドタッチが出来た様にまでなりました。更にITの可能性を実感したので、全社員と会社へ大々的にシステム導入したのを思い出します。二〇〇九年には難波RCのホームページ作成にも携わりましたが、現在のホームページを見る素直な素晴らしくハイコンアッパされて見やすく、奉仕活動や週報のアップも早いので、対外的に素敵な広報が可能となり大変嬉しく思います。広報ホームページ委員会の皆様、有り難うございます。

大地庸元 会員



私は上六の高津高校の卒業生で、石川会員、遠藤会員、本間会員、伊藤会員が同窓です。「自由と創造」

「造」が校訓でしたので、学業より部活を遊ぶ自由と、ハンドボールの技術の創造?に一生懸命でした。それ故浪人も覚悟していましたが、父からの「浪人は許さない!但し大学六年生活はOK!」の一言で、一念発起して早稲田大学に入学し、5年間東京で遊学遊民しつつして大阪へ帰ってきました。父は、会社を木材卸から松下電工さんの取引を重点的に始めて、現在の住設建材卸売・建築・空調などの「ナショナルの太五」の基礎を創ってくれました。その父との別れは、私が二十六歳の時で自身の結婚式当日でした。挙式が挙げられ、披露宴のハイライトのその時に、父は病院で逝去しました。まるで主審の挨拶が終わるのを待っていたかの様でした。父にとつて、私の婚礼は意味があり大きな節目だった。忘れられないのは、式当日の朝、入院している父に、羽織袴を着て挨拶に行った時です。父が朦朧とした意識の中で、「こいつ、今からこいつい商売に行きまねん」と主治医に叫ぶように語っていました。まさに父にとつても待ち望んだ「こいつい商売」であり、私にとつて最後の言葉は、父からの遺言と思ひ、当時3年しか勤務してない私が父の志を引き継いで責任者になる事を決心しました。その後四十五年、「大五の社員は、ハナブ口たれ!」の精神でハナニック関西売り上げナンバーワンに続けさせて頂いてあります。二〇一六年思ひがけず黄綬褒章受章の栄に浴します。これはお得意先、お仕入先はじめ業界の皆様、難波ロータリーのメンバーや友人をはじめご縁を頂く皆様のお陰と心より感謝しております。そしてなにより従業員や家族、御先祖のおかげとも思っております。春には社長職を承継して会長になりますが、今後も会社が「時代の変化に対応できつる企業であり続ける」ように微力ながら支えていきたいと思っております。



Vol. 38

「テーマ 炊き出し」

世代を紡ぐ  
インタビュー

私は二〇〇六年に難波RCに入会しました。当時四十六歳の私は最年少でした。きっかけは、段為梁会員に「お前は、料理の世界は良く知っているが、違う世界も見てみないか?一緒に昼ご飯を食べようやないか?」と誘っていただきました。改めてお話しになりまして、段為梁会員の「真福を心よりお祈り申し上げます。実際に難波RCに入会して、ロータリーの会員同士として、各業界の代表の方々と付き合いをして、他業種の考え方に触れる事ができました。自身が身を置く料理職人の世界とは違う、様々な見識や常識、見解等もの見方を実感することができ、視野が広がり非常に勉強になりました。

西野文秀 会員



思い出としては、二〇一一年7月に難波RCが関西大の学生と共に活動した、東日本大震災の社会奉仕活動です。学生さんば清掃活動を中心に行

い、私はロータリー会員と共にお昼の炊き出しを担当しました。メニューは「カレーうどん・皿うどん・じゃこめし」を三百名分提供し、大勢の方々に満足いただきました。その中で「今日のメニューは食べられるから、みんなおいで!」と避難されている方が、周りの方々を誘っているのを目にしました。おいしく喜んで頂いたことは嬉しいのですが、食べたくない炊き出しがある現状にも気が付き、改めて被災者のご苦勞を感じずにはいられませんでした。その後、和太鼓部の舞台も好評いただき、力強い演奏とあたたかく美味しいお料理で、被災者の心とつながりやすさを感じることができました。例えば、お料理を届けることには、元々ボランティアには興味がありませんが、一人で出来る事には限界がありました。難波RCの仲間と共に奉仕活動することによって、大勢の方々に喜んでいただけることは、奉仕活動をしている自分自身への喜びとなり、ロータリーの考え方を実感できる良い機会になりました。好きなことは料理です。料理をしていたらそれでいいです。料理職人として、お客様の好みや適量を見極めて、オリジナルにこだわり、満足感を提供させて頂く。そして、日本には旬があります。その旬というのを正しく味わってもらう食事の価値観を上げてほしいと思います。そのため、どの様なお料理を提供するかが、毎日の挑戦となります。

これからの予定  
2月4日(木) 例会中止・定例理事会中止  
2月18日(木) 例会未定  
2月27日(土) IM第4組ロータリーデー中止  
3月4日(木) 例会未定・臨時総会・定例理事会未定  
2月11日(木・祝) 休会  
2月25日(木) 例会未定

# 1月は「職業奉仕月間」です

★来客紹介：ありません

★会長報告：川口会長

1. 大阪難波ロータリークラブの会員の皆様、こんにちは。臨時報No.8の会長報告を行います。現在、1月27日にこの原稿を執筆しております。やや感染者数は減少しているものの、未だに緊急事態宣言の解除は見通しが立ちません。そんな中、22日金曜日にIM4組の月例会長ZOOM会議が開かれ、意見交換いたしました。SRFの件は、先週、福田幹事の方から幹事報告の中で書かれておりますので詳しくお読みください。私からの伝達事項は、議事録が出されるのを待って改めて詳しくお伝えしますが、現時点に於いて2月に予定しておりましたロータリーデーは中止となりました。

2. さて本日の「ロータリアンの足跡」は、国際連合の創設に如何にロータリアンが関わってきたかというレポートです。記述の通り第1次世界大戦勃発後の1914年のRIヒューストン大会での「国際平和会議の開催とロータリアンによる国際平和運動の支持」の決議案採択。

また、終戦後1921年、RIエジンバラ大会での「ロータリーの定款・細則に平和づくりを盛り込む制定案の決議。さらには、1922年、RIロサンゼルス大会にて「ロータリーの奉仕と理想に結ばれた、あらゆる国の実業家と専門職者の親交によって、国際平和と親善の推進に貢献すること」と言う「平和綱領」と、同時に「国際ロータリー」への名称変更の決議案の批准により、「ロータリアンの平和運動」が始まりました。以下、記述通り、国際連合の設立に関し、多くのロータリアンが参加し、重要な役割を担いました。現在、私たちは、戦争のない平和な日本国にて暮らしています。ロータリーの先駆者が如何に平和を熱望し、行動を起したことを大いに誇りとし、感謝したいと思います。また現在のコロナ禍に於きましても、世界中のロータリアンが懸命に様々な分野で努力なされているであろうことは、容易に推察できることでしょう。世界中のコロナ終息を願い、本日の臨時報会長報告を終わります。

★幹事報告：福田幹事  
職業奉仕とは何ですか？ 『職業奉仕 四つの反省』

今月は職業奉仕月間です。フォーラムについて網干職業奉仕委員長におかれましては、色々お考え頂いていたのですがコロナウイルスの緊急事態宣言のせいでできなくなってしまいました。また例会が再開しました折には、時間が合えば卓話など考えていきたいと思っております。

皆様は『職業奉仕 四つの反省』ってご存知でしょうか。

「四つのテスト」はもちろん有名ですが「反省」の方はあまり馴染みがないのではないかなと思います。

こちらは「The Rotarian」誌の1967年2月号から1973年12月号まで、「INSIDE ROTARY」というコラムが連載されており、1972年9月号に「職業奉仕とは何ですか」という文章が掲載されていて、この一節を第2840地区の前原勝樹パストガバナーが「職業奉仕・四つの反省」という表題で翻訳されたということです。著者については記載はないようですが、「The Rotarian」誌の編集者か当時の事務総長が書いたものと想像されます。

『職業奉仕四つの反省』

- 1、顧客に対して  
最上の品質、最高のサービスを提供しているか。  
常に、正直と親切を旨としているか。
- 2、従業員に対して  
彼らの長所を十分認め、かつ買っているか。  
安全で快適な職場を確保しているか。  
苦情に対して公正な態度で対処しているか。  
自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。
- 3、競争者に対して  
公正な態度で接しているか。  
あなたは行動をもって誠実を肝銘させているか。  
彼らと共に事業水準の高揚につとめているか。
- 4、協力者に対して  
公正で友情に満ちた関係を保っているか。  
いつも支払いをよくしているか。

職業を通じての利害関係者は、株主・経営者・従業員・顧客・取引先などがあげられますが、それに含まれない「競争者に対して」という項目があるのは、ロータリークラブにおける職業奉仕の理念、「自らの職業を通じて社会に貢献する態度・姿勢」の事を指しており、いわゆる「社会に対して」どうあるべきかということを示しているのではないのでしょうか。

《クラブ事務局 勤務体制変更のお知らせ》

緊急事態宣言下につき、RI日本事務局並びに当地区ガバナー事務所、米山記念奨学会、ロータリー文庫の職員は現在、完全在宅勤務となっております。

つきましては当クラブも対応策をとる事に致しました。会長・幹事で相談いたしました結果、当面の間の業務時間を10時～16時、そして金曜日のみ在宅勤務とさせていただきます。感染拡大防止のため、また職員の安全確保のため、皆様方におかれましては、何とぞご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。



★委員会報告：ありません  
★ニコニコ箱報告：ありません  
★卓話：ありません

## ポールハリスフェローの認証

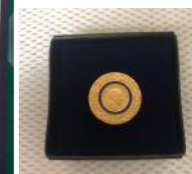
この度は福田幹事、赤坂会員、岡本会員よりロータリー財団へ1,000ドルのご寄付をいただきました。そして毎年皆様から100ドルずつご寄付をいただいている、その累積により川口会長、林会員が今回マルチプルポールハリスフェローとなりました。福田幹事、赤坂会員にPHF認証状を、また5名の方へPHFピンをお送りさせていただきます。



福田幹事 PHF認証状とPHFピン



赤坂会員 PHF認証状とPHFピン



岡本会員PHFピン



川口会長PHFピン



林会員PHFピン

1月 入会記念日 おめでとうございます

1月9日 宮本倫明会員 令和2年

1月31日 中川博之会員 平成31年